



平成 27 年 9 月 1 日 現在	総世帯数	1,828 世帯
	総人口	4,849 人
	男	2,344 人
	女	2,505 人

# 各町会の夏の行事

## 山東町会 納涼大会



お盆の 14 日(金) 納涼大会が催され、幼児からお年寄りまで大勢が参加し、真夏の日の午後のひと時を十分に楽しませました。

## 寺家町会 納涼夏祭り

寺家町会ふれあい納涼夏祭りが 8 月 13 日(木)、心配された雨も昼には上がり、無事開

## 南荒井町会 子ども夏祭り



催されました。太鼓連、消防団ラッパ隊、常会の出店、カヲケ大会などを満喫しました。



楽しい夏休み

## 町神会 夏祭り

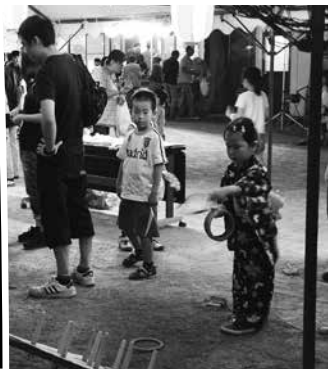


8 月 7 日(金)恒例の南荒井子ども夏祭りが開催されました。前半は小学生ゲーム大会。その後、稲取会主催の夏祭り。金魚すくい・わたあめ・水ヨーヨー・ポップコーン・かきごおり、大勢の子ども達が参加し、楽しい夏祭りでした。

## 下神町会 納涼祭

8 月 14 日(金)、コミュニティ広場で恒例の納涼祭が開催されました。焼き鳥、焼きそば、わたあめの屋台、ご家庭から提供された米や野菜などのバザー、

## 梶海渡町会 夏祭り



子ども広場の輪投げなどがあり、それぞれにひと時を楽しみました。



小学生は、元氣よく広場で水鉄砲遊びやベクトルボトルボーリング、バナナ鬼をして遊びました。夕食はハヤシライス。デザートにはアイスクリームを頂き満腹！そして日没近くに待望の花火を楽しみ満喫！最後に打ち上げ花火を町会の約 50℃ 近くあったので驚きま

7 月 26 日(日)、恒例のお楽しみ会が公民館で行われました。小学生は、元氣よく広場で水鉄砲遊びやベクトルボトルボーリング、バナナ鬼をして遊びました。夕食はハヤシライス。デザートにはアイスクリームを頂き満腹！そして日没近くに待望の花火を楽しみ満喫！最後に打ち上げ花火を町会の約 50℃ 近くあったので驚きま

# 鎖川

◆そろそろ畑でとれる夏野菜も終わり、秋野菜の収穫に向け種まきや苗の移植が始まる季節になりました。

◆昨年、この「鎖川」で契約栽培によるジューズ用トマトの紹介と生育状況について一報させて頂きました。昨年のお盆近くは台風がやって来てその後は断続的な長雨の中、カップを着ての収穫で最悪でした。◆今年は、7 月下旬から急激に気温 30℃ を超える真夏日が続く、こんなにも暑さを苦に感じた事は初めてです。気温 35℃ 以上に達する午後 2 時頃の畝間の黒マルチ表面温度を計測したところ、

◆数年、天候不順の影響で野菜作りに気をもむことが多くなりました。降雨が全くない、あまりにも激しい気温変化、本当に頭が痛い！もう地球はどうにか頑張ってしまっただかと空を見上げてしまおうくらいです。



### 認知症講座



神林公民館で「認知症講座」が3回に渡り開催され延べ86人の方が受講しました。

厚生省は、10年後には65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍になり、約七百万人が認知症患者になっているとの調査報告をしています。

#### 認知症とは？

認知症を引き起こす主な病気は脳の萎縮や損傷による脳障害などで、その主な症状は記憶障害で「日常生活・社会生活に支障をきたす」ようになった状態を指すと定義されています。加齢による「もの忘れ」は、例えば、食事のメニューの一部が思い出せないなどですが、それに対して認知症は食事したこと自体の記憶がスッと抜けてしまう病的な状態です。

なってしまうたら、諦めるしかないのでしょうか？

現在完治する治療薬はないようですが、早期発見で進行を遅らせることは可能です。予防としては、趣味などをもち旅行や、文化活動、食事会など余暇活動・社会参加に積極的なほど発症率が下がっています。

最近もの忘れの頻度が多くなって認知症が心配だと思わ

れる方には、「まつもと医療センター（松本病院）」などの「もの忘れ外来」の受診を薦めてみるのも良いでしょう。

認知症の人と接するときは本人が記憶の喪失に対して、苦しみや悲しみ、不安を抱いていることを理解し①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけない様にすることが大切です。



また、介護している家族は世間体をはばかって、抱え込みにがちになつてしまいがちになります。特に介護者の立場は要介護者から攻撃の対象になりがちです。つい感情的な対応になつて

しまいます。

困つたら、家族の会や地域包括センターに相談してみてください。また、各出張所も窓口になつていきます。

ご近所の方が、家族が。そして自分が認知症にならない様に。また、なつたらどうしたら良いかを考える機会でした。

### 子供たちの夏休み行事

7月下旬から8月中旬までは子どもたちにとって楽しい夏休み。地区でも様々な夏休み行事が行われました。



#### マスコつかみ大会

7月19日(日)、子ども会育成会によるマスコつかみ大会が、鎖川の水代橋下流で開催され、多くの子供たちが参加しました。

合図と同時に、川の中に作られた「いけす」に歓声をあげながら入り、手探りでマスコを追いました。うまく捕まえて笑顔で親にマスコを見せたり、なかなか獲れなくて真剣な表情で水の中を探したりと、それぞれに夏ならではの行事を楽しみました。



#### ぐりとぐらの巨大カステラ作り

7月26日(日)、神林公民館

で、「ぐりとぐらの巨大カステラ作り」が行われました。

絵本「ぐりとぐら」の話に出てくる巨大カステラ作り。この近隣では神林が発祥地となつていきます。仕掛け人は三島幸子さん(川東)。



雑誌の記事で、震災直後の避難所の子どもたちに巨大カステラを作っているのを知ったことがきっかけとのことで、周囲の協力を得て実現し、試行錯誤をしておいしく作れるようになったそうです。

焼き上がったふたを開けた瞬間の子どもたちの歓声や笑顔がご自身の喜びでもあると話していました。

この日も、ふつくと焼きあがって、子どもたちは2つ

3つとお腹がいっぱいになるまでおいしそうに食べていました。

#### あづみ野公園わくわく体験

8月3日(月)あづみ野公園わくわく体験が行われ、小学生24人の参加がありました。

ロードトレインで、大草原の家へ向かい、到着すると、子ども達は我先に遊び始めました。家の外には、プールや、サイバーホールもあり、時間まで目一杯遊んでいました。

その後、木陰にシートを広げてお弁当タイム。お腹がいっぱいになった後は、空中回廊を通って森の体験舎へ向かい、木片に自分の好きな絵を色砂で描く「サンドアート」のネックレス作りを行ないました。思い思いの作品を作つて夏休みの良い思い出になったことでしょう。

